

【R4】 地域協働で取り組む空き家状況の見える化と流通促進プロジェクト (広島空き家流通促進ネットワーク)

別添資料4

広島県東広島市豊栄町で、地域自治組織と協働して空き家の情報を網羅的に集め、専用のシステムに登録し空き家情報の「見える化」を行った。また、移住希望者を対象に地域と空き家を巡るツアーを開催し、流通促進につなげた。

■ 事業概要

事業部門	部門3 ポストコロナ時代を見据えて顕在化した新たなニーズに対応した総合的・特徴的な取組を行う事業
事業地域	広島県東広島市
背景・課題	空き家バンク等に登録されている情報は実際の空き家のごく一部であり、地域の空き家情報が出そろっていないため、移住希望者があっても効果的な空き家紹介ができていない。
目的	空き家の見える化(空き家バンクへの橋渡しとなるデータベース登録)と、移住希望者とのマッチング活動により流通促進を図る。また、地域の自治組織とともに取り組むスキームを構築することで、点から面での取り組みへと意識変化を目指す。
連携する団体・役割	乃美別府住民自治協議会(地域事業として空き家対策に取り組む) 広島県(東京の移住サポートセンターとの連携、広報協力)

1 意識啓発(セミナーの実施)

空き家の持ち主や、これから持ち主になりそうな人、自分の家が空き家になりそうな人をターゲットとして、長く空き家にしない方がよいこと、相続から売却までの基本的な流れ等を学び、家についての課題意識を高め、**地域一体で取り組む雰囲気**を醸成する。

2 空き家調査及びデータベース登録

住民から一次情報を受け取り、団体の専門家(不動産事業者等)が流通に必要な情報を補填。もともと地域で把握していた数(24軒)から把握数が大幅に増加した(68軒)。

3 流通促進 空き家見学ツアーの実施

実際に流通が可能な空き家について、マッチングを目指し移住者を募った空き家見学ツアーを実施。行程には地域住民も帯同し、子育て・教育施設やスーパー等の生活情報も紹介しつつ、交流を図ることで地域との縁づくりも目指した。(参加者3組10名)

